

第89回 定期演奏会

# ワグネル・ソサイエティー・ OBオーケストラ

指揮

寺岡清高

ピアノ

藤井一興

2021年12月26日(日)

13:30開演(開場12:45)

すみだトリフォニーホール

JR総武線「錦糸町駅」北口 東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」出口3  
徒歩約5分

全席指定 ¥2,000

[問合せ先] 演奏会事務局 TEL.090-1044-4412  
office@wagner-ob.jp

WSOホームページ <http://www.wagner-ob.jp>



## オール・ベートーヴェン プログラム

序曲「コリオラン」作品62

ピアノ協奏曲第5番 作品73「皇帝」  
(Pf. 藤井一興)

交響曲第5番 作品67「運命」



©SEIICHI KAIJO

### ご来場くださるお客様へ 新型コロナウイルス感染防止のためのお願い

- ・会場内ではマスクを常時着用し、咳エチケットへのご協力をお願いします。
- ・客席内での会話はお控えいただき、他のお客様との接触を少なくしていただきますようお願いいたします。
- ・こまめな手洗い、手指の消毒をお願いいたします。
- ・体調に諸症状(発熱/頭痛/のどの痛み/せき/くしゃみ/寒気/節々の痛み/リンパ節の腫れ/嗅覚・味覚障害)がある、または体調が優れない場合は、ご来場をお控えください。
- ・飲食物の販売は行いません。お飲み物はご自身でご用意ください。
- ・「ブラボー」などの声掛けはご遠慮ください。拍手のみで応援をお願いいたします。
- ・出演者による面会、サイン会は実施しません。楽屋口での出待ちはお断りいたします。
- ・出演者へのプレゼントや花束の贈り物はご遠慮ください。受付にてのお預かりもいたしません。
- ・出演者、来場者などに感染者または感染の疑われる方が発生した場合、保健所などの公的機関による聞き取り調査にご協力いただく場合がございますので、予めご了承ください。
- ・お客様ご自身が公演終了後2週間以内に体調不良になった場合、上記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAをご活用ください。

新型コロナウイルス感染防止のため、席数が限られております。このため、当団ホームページでのご招待および当日券販売のみとさせていただきます。詳しくは当団ホームページ(<http://www.wagner-ob.jp>)をご覧ください。



**寺岡清高**  
指揮

早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経て、ウィーン国立音楽大学、イタリア・シエナのキジアーナ音楽院で学ぶ。1997年同音楽院より「フランコ・フェラーラ大賞」を授与され、1年間ジャンルイジ・ジェルメッティのアシスタントとしてロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等と同行し研鑽を積む。これまでに指揮を高階正光、カール・エステルライヒャ、ウロシュ・ラーヨヴィッチ、湯浅勇治、カルロ・マリア・ジュリーニ、ヨルマ・パスラ、ネーム・ヤルヴィの各氏に師事。2000年ミトロプロス国際指揮者コンクール優勝。以降、ヴェニス・フェニーチェ歌劇場管弦楽団、サンクト・ペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、オランダ放送管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、イギリス室内管弦楽団を始め、イタリアを中心にヨーロッパ各国のオーケストラへ客演。日本では2001年に大阪交響楽団を指揮してデビュー。これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団等を指揮している。2004年1月大阪交響楽団正指揮者に就任。2011年4月以降は常任指揮として、2019年3月まで足かけ15年間、ウィーン世紀末のロマン派音楽を積極的にとりあげ続け、とりわけ2013年6月の第176回定期演奏会における「オール ハンス・ロット プログラム」は大きな反響を呼び、同年の大阪文化祭賞を受賞した。ウィーン在住。



**藤井一興**  
ピアニスト

ピアノを安川加壽子、井上二葉、辛島輝治、萩原智子、作曲を長谷川良夫、南弘明の各氏に師事。東京藝術大学3年在学中、フランス政府給費留学生として渡仏。パリ・コンセルヴァトワールにて作曲科、ピアノ伴奏科ともに一等賞で卒業。パリ、エコール・ノルマルにてピアノ科を高等演奏家資格第1位で卒業。その間、作曲をオリヴィエ・メシアン、ピアノをイヴォンス・ロリオ、マリア・クルチョ、ピアノ伴奏をアンリエット・ピュイグ＝ロジェの各氏に師事。1976年オリヴィエ・メシアン国際コンク

ル第2位(1位なし)。1979年パリのブラジル・ピアノ曲コンクール第1位。1980年クロード・カン国際コンクール第1位。モンツァ「リサ・サラ・ガロ」国際コンクール第1位。第1回日本国際ピアノコンクール第4位(1位と3位なし)。1981年マリア・カナルス国際コンクール第2位(1位なし)、及びスペイン音楽賞。サンジェルマン・アン・レイ市現代音楽国際ピアノコンクール第1位。1982年パロマ・オシェア・サンタンデル国際ピアノコンクール入賞 第3回グローバル音楽奨励賞。第10回京都音楽賞実践部門賞。

レコード・CDではメシアンのラ・フォヴェットゥ・デ・ジャルダンやイゴール・マルケヴィッチ作品集、武満徹作品集、ドビュッシーシリーズなどをリリースしている。また、作曲家としても、フランス文化省から委嘱を受け、その作品が演奏会や国際フェスティバルで演奏・録音され、毎年、自身のリサイタル等で新作を発表している。その他、世界初のフォーレのピアノ全集の校訂を担当し、1～5巻(全5巻完結)を春秋社より出版している。

現在、東邦音楽大学大学院教授、東邦音楽総合芸術研究所教授、桐朋学園大学特任教授、東京藝術大学講師。

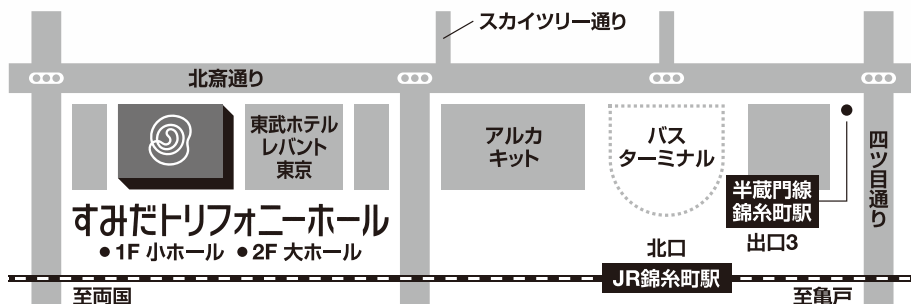


**ワグネル・ソサイエティー・OBオーケストラ**

“慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ”の出身者が中心となって1974年に設立、同年冬に第1回演奏会を開催して以来、毎年1～2回の演奏会を行っている。最近のレパートリーは、ハイドン、ベートーヴェン等の古典から、ブルックナー、マーラー等の後期ロマン派、フランス・アメリカ近現代音楽、ヒンデミット、コダーイ等の異

色作品まで幅広い。設立当初は長年にわたって慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラの常任指揮者を務めた東京藝術大学名誉教授、故・中山富士雄氏の薫陶を受けたが、その後は常任指揮者をおかず、演奏会ごとに様々な指揮者の指導のもとに活動をしている。これまで定期演奏会では中山富士雄、團伊玖磨、山本七雄、ロバート・ライカー、朝比奈千足、斎藤純一郎、飯森範親、三原明人、藤崎凡、新田ユリ、飛永信康、新通英洋、鈴木清三、中川賢一、矢崎彦太郎、大塚正昭、川本貢司、田久保裕一、横島勝人、武藤英明、小泉和裕、山田和樹、角田鋼亮、本名徹次、寺岡清高、井崎正浩、松尾葉子、飯守泰次郎、大山平一郎、金洪才、佐伯正則、田部井剛の各氏に指揮をお願いした(初出演年代順)。

定期演奏会の他にも他合唱団体との特別演奏会、(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟(JAO)の加盟団体として連盟主催行事への有志参加など、意欲的な演奏活動を続けている。



JR総武線「錦糸町駅」北口 東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」出口3 徒歩約5分  
就学前のお子様の客席へのご入場はご遠慮いただいております。